

【内容】

インタビュー：松本ホテル学会
特集：市民活動フェスタ2024
インフォメーションコーナー
助成金情報

サポートセンター通信

106

【お問合せ】 〒390-0874 松本市大手3-8-13 松本市役所大手事務所2階 TEL/FAX 0263-88-2988 MAIL kyoudou@city.matsumoto.lg.jp



松本ホテル学会 (まなぶかい)

設立：2012年
 構成団体・人員：7団体
 250人
 目的：ホテルも棲めるよい
 自然の維持・復活と
 そのための教育・支
 援活動・要請活動を
 行う。

松本ホテル学会 代表
 藤山静雄さん

ホテルも棲めるよい自然を。

松本ホテル学会(まなぶかい)の藤山代表に

インタビュー！

ホテルも棲めるよい自然の

維持・復活と、そのための教
育と支援活動を行うため、2
012年に設立した「松本ホ
テル学会(まなぶかい)」。活
動について松本ホテル学会の

代表を務める農学博士 藤山静

雄さん(信州大学名誉教授)

にお話をお聞きするため、庄
内ほたる水路にお伺いしまし

た。

【林】活動の経緯について教
えてください。

【藤山】庄内ほたる水路の移
転に関わったこともきっかけ
の一つです。2002年より

始まった庄内土地区画整理事
業の工事で、29ヘクタール

強の水田・用水路が一気に無
くなる寸前の地元に、からく

も残っていたハイケボタルの
棲む土(つち)土手水路(の

環境)を「長年培われた地元
の財産として、未来に残した

い。」との呼びかけから、唯
一用水が引ける小さな公園予

定地への、土草泥と生き物の

丸ごと移転が実現しました。

これにより、ホテルが20年
棲み続けています。

【林】活動を通して伝えたい
ことはなんですか。

【藤山】昔は人と自然が共存
していた。それが当たり前で

作っていく」という風な発想
になりかねないので。人間は

食へ物も全ての生活を生き物
に依存しています。人間と生

き物は共存をしないとけな
いんだということを、この活

動を通してわかっていただけ
たらありがたいです。

【林】共存のために必要なこ
とはなんでしょうか。

【藤山】例えば草があつて人
間と共存をすると言っても、

どのくらいの草の程度なら皆
さんが共存できる、妥協でき

るのかを探りながら、私たち
は活動しています。

【林】多様性にもつながりま
すか。

【藤山】人間にとって都合の



人間も生き物も共存・共栄するような格好にもって いくことが、地球環境を守ることに通ずるのでは。



この日は、生き物観察会へ向けて作業

いいものだけにするっていうことは、自然の状態では無理なんです。どこまで嫌なものがあっても妥協できるか、その限界を少しずつ引き上げていくことも必要だと思います。私たちは生き物観察会をおこない、ここの植物をできるだけ多様性を保つようにすると、いろんな生き物が棲めるようになっていくんで

す。鳥もここへやってくるんです。生き物にとってはエサがあることはとても大事なことで、いろんな生き物がどんどん集まってくるような場所は、自然が豊富だということだと思います。食う生き物は敵だっていう風な直観的な感覚ではなくて、食う生き物もいることが、逆に多様性を高めることにつながってるんだっていうことを、観察会を通して見ていただくことを心がけています。

【林】外来種についてはどう考えますか。

【藤山】国際交流があれば、植物や動物も入ってきてしまうのが自然なんですよ。入ってきた生き物についても害のないように、みんなで工夫をしながら自然の中で共生できるようにしていくことが、重要じゃないかと思っています。徹底的に排除すると言っているのも、5年やって排除できないものは、もう現実的に無理なんですよ。それよりも日本の中で、いかに被害が出ないように上手に共存させていくかっていうことを長期的に考えていくことが必要かと思っています。人間も生き物も共存・共栄するような格好にもっていくのが地球環境を守るって意味でもいいんじゃないかと思いませんね。

【林】最後にメッセージをお願いします。

【藤山】誰でも生物多様性などをやろうと思えば関わるができます。ですので身近にある自然の中で、街中に住んでいても



サワガニがいます。どこにいるでしょうか

どこでもできることなので、そういうところから意識をちょっとでも高めていくことが大事だと思います。ぜひ一緒に始めてみませんか。お待ちしております。

HP



動画



大好きがみつかる!

HAPPY



市民のみなさんが市民活動に触れていただく市民活動フェスタを開催します。35団体が参加し、ブース出展・ステージ発表・学習会等をおこないます。市民のみなさんと団体の皆さんと一緒に参加して楽しむ「市民活動クイズ」もあります。ご家族で楽しんでいただける2日間。ぜひご来場ください。

参加
無料

2024.9.28(土)~29(日)

開催時間

28(土)10:00~17:00
29(日)10:00~15:00

2日間
楽しい
イベントが
いっぱい!



参加団体

講堂

- ・松本手話サークル
- ・すまいるダンスくらぶ
- ・NPO総合体操クラブWing
- ・松本ひまわりの会
- ・アルプス草笛会
- ・WS安曇野
- ・ポジ◎ラボ
- ・溪流保護ネットワーク

市民活動フェスタの詳細はQRコードからご覧ください



会議室

- ・古い電車で新しい語らいの会
- ・NPO法人信州ひねもす
- ・ケアぼうしの会
- ・地球環境フォーラム
- ・こどもの居場所 みなもと

ポケットパーク

- ・てくてく
- ・松本市「暮らしと環境」を考える会
- ・音色くらぶ
- ・WS安曇野
- ・信州ツキノワグマ研究会
- ・ポジ◎ラボ

交流スペース

- ・ワーカーズコープ
- ・フリマネット信州
- ・溪流保護ネットワーク
- ・子どもを亡くした親の会「たんぼぼの会」
- ・子どもの育ちを支える会
- ・中信地区里親会
- ・音色くらぶ
- ・松本ホテル学会
- ・講師バンクまつもと
- ・はぐまつ
- ・NPO法人信州ひねもす
- ・長野色育会
- ・歓生命Cheer
- ・ケアぼうしの会
- ・NPO法人中信多文化共生ネットワーク
- ・松本留学生応援ファミリーの会

アルプちゃんも
やってくる



まつもと

イベント・SNS知識・NPOに役立つ書籍をご紹介します！

『インフォメーション』コーナー

第44回講座「人間はどこまで家畜か～同調・思考停止を求める現代社会をどう生きる？」

第1部 講演「人間はどこまで家畜か」

講師：熊代 亨さん（精神科専門医、精神保健指定医）

第2部 「フリーディスカッション」

講師を交えて自由な意見交換を行います。

- 日時：2024年8月31日(土) 14:00～16:30
- 会場：松本市中央公民館Mウイング 3階 3-1・3-2会議室（定員90名）
- 参加費：500円（信州自遊塾会員・大学生以下は無料）
- 申込み：<https://jiyujuku.org/>の講座申込フォームもしくは
電話 090-4911-8209（自遊塾事務局 担当まつもと）
- 主催：信州自遊塾

湯浅誠氏講演会 少子化と子どもの居場所～地域で支える子育て～

少子化社会における地域の居場所づくりの必要性について広く県民の皆様を知っていただき、地域の居場所づくりやこども食堂等の活動への理解の促進を図るための講演会を開催します。

- 日時：2024年8月31日(土)10:30～11:30
- 会場：塩尻総合文化センター 大会議室（定員90名）
- 参加費：無料
- 申込み：<https://www.mirai-kikin.or.jp/>の講演会申込フォームから
- 主催：公益財団法人長野県みらい基金

令和6年度 ボランティア養成講座「傾聴ボランティア基礎講座」

傾聴の基礎やコツを学びます。「傾聴について」または「傾聴ボランティア」に興味のある方のご参加をお待ちしております。

- 日時：2024年9月19日(木)13:30～16:00
- 講師：内山 二郎氏（フリージャーナリスト/(前)長野市傾聴電話運営委員長）
- 会場：松本市総合社会福祉センター 4階大会議室（先着50名）
- 参加費：無料
- 申込締切：2024年9月6日(金)
- 申込み：電話 27-3381 FAX 27-2239（松本市社会福祉協議会 地域福祉課）
MAIL vol@syakyo-matsumoto.or.jp
- 主催：松本市社会福祉協議会

NPO関連オススメ本

【改訂新版】非営利団体の資金調達ハンドブック

著者：徳永 洋子（時事通信社）

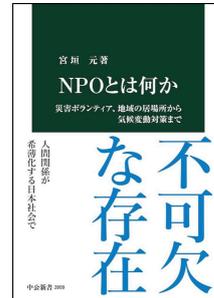


NPOにとって「活動資金をどう獲得するか」は悩みの1つ。本書は「寄付者が最初の寄付をするまでの過程」を分析し過程ごとの対応が紹介されています。

NPOとは何か

（災害ボランティア、地域の居場所から気候変動対策まで）

著者：宮垣 元（中央公論新社）



阪神・淡路大震災のボランティア活動後、子どもの貧困・気候変動など、多岐にわたるNPOの歴史・制度・存在理由から特性まで、詳細に書かれています。

SNS豆知識

ミッションを達成していくために、会員を増やしたり、クラウドファンディングに挑戦することは大事ですが、それらを成功させるためにSNSを活用してください。活用で大事なことは「定期配信」です。定期配信することで「信頼」を与えることができ、会員やクラウドファンディングの成功に繋がります。

新スタッフ紹介

濱地 啓希

今年度から信大生として松本で生活しております。元イベントや祭りで地域の人々と交流することが好きで、松本の文化を知り、市民の皆様活動に貢献したいという思いでサポートセンターに加入させて頂きました。精一杯務めますので、一年間よろしくお願い致します。

大月 礼子

4月からお世話になっています。市民活動がされている皆様を始め、スタッフの皆さんの多彩さに日々励まされております。皆様の活動の一助となれるよう、精一杯務めたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

編集後記

私がか子どもの頃は、お盆を過ぎると残暑でしたが、今は猛暑です。くれぐれも熱中症にお気をつけ下さい。「SNS豆知識」でお伝えしましたが、SNSはぜひ活用して下さい。使い方や始め方がわからない場合は、お気軽にご相談ください。（林）